

しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

創刊号

発行日:平成17年8月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/shimibyojin/shimibyojinindex.html>

写真家・村上宏治

「しまなみ」創刊号に寄せて

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



「しまなみ」創刊号に寄せて

尾道市立市民病院院長
太田 保

平素から当院の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

病診連携が極めて重要であるにも関わらず、当院の広報活動が極めて不活発であったことをお詫びいたします。「地域医療連携室のご案内」に続き、今回、広報誌「しまなみ」を発刊いたしました。今後定期的に当院のイベントや変化について報告する予定です。

現在当院の重点目標は、安全な医療は当然として、1)地域医療連携、2)電子カルテによる院内の情報化、3)研修医の育成、4)救急体制の充実、5)病院機能評価受審などですが、とりあえずは救急病棟新築がこの7月よりとりかかりました。

本年3月より日本でまだ数台のMDCTが稼動し、6月より消化器外来が始まりました。地域医療連携に関しては医師会とさらに連携し、退院時ケアカンファレンス、外来ケアカンファレンスに力を入れる予定です。6月より逆紹介推進チームを結成し特に外来患者の逆紹介を推進しています。これには頻回の外来ケアカンファレンスが必要と考えております。開業医の先生方のご協力宜しくお願い致します。

3月には電子カルテの導入が終了し、現在、順

次稼動している状態となっており、今後は画像などの二次計画を進め、最大の目的である地域の医療情報化に向け医師会と検討の段階に入りたいと思っております。

研修医の育成は順調に進んでおり、院内教育研修担当主幹というポストを設け、外部からの講師の招請などを行い、指導医の研鑽にも努めております。現在は18年度の研修医確保に向けて頑張っています。

新しい救急外来棟は18年の4月には稼動の予定ですが、夜間救急と共に昼間の救急にも重点を置き、24時間体制で救急患者に対応する予定です。

病院機能評価受審につきましては全職員が院内すべてのセクションにおいて組織や機能の見直しを行っております。これにより全職員の意識改革が起こる事を期待しております。

約2年で院内の改修を済ませる予定ですが、接遇、安全管理など職員の意識改革を図って行く予定です。

先生方のご支援を得まして、一つずつ計画を進めてゆきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「最新型CT導入」

信頼される安全で質の高い医療を提供



2005年3月末、尾道市立市民病院に新しいCTが導入され、4月から稼動しております。CT（コンピュータ断層撮影装置 Computed Tomography）とは体を輪切りに切ったように見える画像（横断像）を作り出すX線診断装置のことです。金太郎飴でいえば、細長い飴の棒を切ると断面に金太郎の顔が現れますが、実際には切らないで金太郎の顔を写し出すというわけです。CTを使えば、体の中の臓器がどのようになっているか、臓器内に腫瘍などの病気があるかないかが診断できます。CTは1972年にイギリスで発明され、日本においては1975年に第1号が導入されました。まだ30年の歴史しかありませんが機械の性能は飛躍的に進化しました。

今回、当院に導入されたCTは最新型の超高速高性能CTであり、導入当時国内で稼動していたのは10台以内でした。新しいCTは検査に要する時間が極めて短縮され、しかも今まで以上に精密

な画像を撮ることが出来るようになりました。以前の当院のCTでは胸部と腹部のCT検査をする場合には、二日に分けて検査しなければなりませんでした。新しいCTでは胸部から腹部さらに骨盤までを連続して撮影することができるために1日でまとめて検査できるようになりました。2回分の検査を1回で済ませるわけですから検査料は相対的に半分にになります。また短時間で検査ができるようになったために検査を受ける患者さんの身体的負担が軽くなりました。経済的にも身体的にも優しいCTと言えます。この最新型のCTを使い、当院の病院理念である、「信頼される安全で質の高い医療を提供」し、「患者様を中心とした医療」に少しでも役立つようにしたいと思っております。CTのみならず、放射線科での検査や対応に疑問などありましたらご遠慮なく質問していただければ幸いです。

放射線科医長 小林 満

肛門科の紹介

（ 肛門科では直腸、肛門に関する
いろいろな疾患について診察をしています。 ）

痔核（いぼ痔）、痔ろう（あな痔）、裂肛（切れ痔）、直腸脱、肛門周囲膿瘍、
肛門掻痒症、肛門部腫瘍（ポリープ、癌など）、便失禁など

● 診察の実際

・直腸、肛門の診察には問診、視診、直腸指診、肛門鏡、直腸鏡などを行います。

● 肛門の症状と疾患

・肛門の症状としては出血、脱出、痛み、かゆみ、肛門部違和感、便失禁などがあります。

● 肛門出血

・多くは痔核、裂肛が原因となりますが、中には大腸癌、直腸癌が原因になることもありますので注意が必要です。痔核からの出血には紙につく程度のものから便器にぼたぼたと落ちるもの、吹き出るように出るものまでさまざまです。肛門からの出血があるときには早めに受診し、年齢にかかわらず大腸内視鏡などの検査を受ける事をお勧めします。

● 肛門痛



・痔核では多くの場合外痔核が原因になります。特に血栓性外痔核という痔核内に血のかたまりができるタイプの外痔核では重いものを持ったあとや便秘で強くいきんだ後に急に激しい疼痛がでてお尻をべったりつけて座ることができず、「今すぐ何とかしてください。」と外来を受診されることが多いです。この場合は局所麻酔下に血栓を切除する処置を行います。入院の必要は無く外来でできる処置です。また、内痔核でも嵌頓（かんとん）痔核といい常に出たままになった痔核では痛みを伴う事があります。

・肛門周囲膿瘍の痛みは徐々にひどくなり時に発熱を伴います。自然につぶれて膿が出て楽になる場合もありますが、多くの場合外来で切開排膿が必要です。切開排膿後約半数の方は治りますが、残りの半数の方は痔ろうになります。痔ろうは入院して根治手術が必要になります。また、そのまま放っておくと膿瘍が骨盤や足の筋肉へ広がり命にかかわることもありますので早めの受診が必要です。

排便時または排便後に出る痛みは裂肛によるものが多く、通常排便後2-30分で消失します。便秘や硬い便をしたときに起こりやすく、排便習慣をしっかりつけることが大事になります。外用薬での治療が中心となりますが、治りが悪いものでは手術が必要になります。

● 肛門よりの脱出

・痔核脱出、直腸脱、肛門脱、直腸・肛門腫瘍の脱出などがあります。

・痔核のうちで脱出を繰り返し出血を伴うものや、脱出したまま戻らなくなったものは手術が必要です。

・直腸が肛門から脱出する直腸脱は薬物治療では治らず、手術が必要です。

肛門疾患はそのほとんどが良性疾患で治療開始が早ければ早いほど保存的治療（手術によらない方法）で治療可能なことが多く、また治りも早いです。デリケートな場

所ではありますが、症状があったら早めに受診することをお勧めします。

薬局からのお知らせ

粉薬の名前が表示されます。

粉薬の薬包紙に写真のように「受診科」「服用方法」「調剤日」「薬の名前」を表示するようにしました。錠剤などは包装に薬の名前が表示されています。しかし当院で調剤した粉薬の場合は薬の名前が表示できず、患者様にはご不便をおかけしていました。今回新しい機械を導入することに

より薬の名前を表示することが可能になりました。表示することで今何を飲んでいるかということ、いつ飲んだらいいかといったことがはっきりわかるようになりました。なお一部のものは、機械の関係により薬の名前だけしか表示してないものもあります。



外来診療予定表

■ 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日
 ■ 診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで

| 科別 | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 備考 |
|-----------|------|----------------|-------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------|
| 内科 | 一診 | 山脇 泰秀 消化器 | 山脇 泰秀 消化器 | 藤野 寿幸 内分泌代謝 | 山脇 泰秀 消化器 | 藤野 寿幸 内分泌代謝 | |
| | 二診 | 藤野 寿幸 内分泌代謝 | 橋本 昌美 内分泌、高血圧 | 水戸川剛秀 消化器 | 橋本 昌美 アレルギー | 水戸川剛秀 消化器 | |
| | 三診 | | | 岡田 震一 糖尿病 | | | |
| | 五診 | | 横田 和昭 | | 開原 正展 | | |
| | 六診 | 岡田 震一 | 原口 俊 | 横田 和昭 | 森永 裕士 | 岡田 震一 | |
| | 七診 | 開原 正展 | 小寺 亮 | 松本 佳則 | | 横田 和昭 | |
| | 呼吸器科 | | 喜多嶋拓士 | | 喜多嶋拓士 | 川真田 修 | 喜多嶋拓士 |
| 消化器科 | 診察 | 森川 民也 | 水戸川剛秀 | | 森川 民也 | 森川 民也 | 内科三診で診察 |
| | 検査 | 竹本 浩二 | 第1・3・5加藤 順 第2・4 黒目 学 | | | 平岡佐規子 | 内視鏡等検査 |
| 循環器科 | 診察 | 小林 博夫 | 佐藤 克政 | 杉山 洋樹 | 杉山 洋樹 | 小林 博夫 | |
| | 検査 | 小林 博夫 | 小林 博夫 | 小林 博夫 | 小林 博夫 | 小林 博夫 | 心エコー等 |
| | | 杉山 洋樹 | 杉山 洋樹 | 杉山 洋樹 | 杉山 洋樹 | 杉山 洋樹 | |
| | | 佐藤 克政 | 佐藤 克政 | 佐藤 克政 | 佐藤 克政 | 佐藤 克政 | |
| 神経内科 | | 久保 元基 | 久保 元基 | 久保 元基 | 久保 元基 | 久保 元基 | |
| | | 原口 俊 | 横林恵理子 | 原口 俊 | 原口 俊 | 原口 俊 | |
| 外科 | 一診 | 太田 保 | 宇田 征史 | 太田 保 | 中井 肇 | 中井 肇 | |
| | 二診 | 外科全般 宇田 征史 | 消化器、鏡視下 上塚 大一 | 外科全般 近藤 喜太 | 肝、胆、脾、消化器 川真田 修 | 肝、胆、脾、消化器 川真田 修 | |
| | 三診 | 静脈瘤 | 消化器、ヘルニア | 一般外科 | 呼吸器 | 乳腺、食道 | |
| 整形外科 | 一診 | 高杉 茂樹 | 高杉 茂樹 | 廣岡 孝彦 | 高杉 茂樹 | 廣岡 孝彦 | |
| | 二診 | 廣岡 孝彦 | 木浪 陽 | 木浪 陽 | 木浪 陽 | 木浪 陽 | |
| 小児科 | 一診 | 佐藤 正義 | 宇根 知香 | 佐藤 正義 | 宇根 知香 | 佐藤 正義 | 8時45分より診察 |
| | 二診 | 宇根 知香 | 佐藤 正義 | 宇根 知香 | 佐藤 正義 | 宇根 知香 | 10時より診察 |
| 脳神経外科 | | 宇本 正治 | 吉本 祐介 | 勝間田 篤 | 吉本 正治 | 吉本 祐介 | |
| 産婦人科 | 新患再来 | 占部 清 | 大村 裕一 | 占部 清 | 大村 裕一 | 占部 清 | |
| | 妊婦健診 | 大村 裕一 | 占部 清 | 大村 裕一 | 占部 清 | 大村 裕一 | 10時30分より診察 |
| 皮膚科 | | 上田 武滋 | 上田 武滋 | 上田 武滋 | 上田 武滋 | 上田 武滋 | |
| 泌尿器科 | | 大枝 忠史 | 能勢 宏幸 | 大枝 忠史 | 能勢 宏幸 | 大枝 忠史 | |
| 耳鼻咽喉科 | | 木村 信次 | 木村 信次 | 木村 信次 | 木村 信次 | 木村 信次 | |
| 眼科 | | 原田 義弘 | 原田 義弘 | 原田 義弘 | 原田 義弘 | 原田 義弘 | |
| 放射線科 | | 小林 満 | | | 三船 啓文 | | |
| 歯科・歯科口腔外科 | | 吉田 明弘 | 吉田 明弘 | 吉田 明弘 | 吉田 明弘 | 吉田 明弘 | |
| 内科 | 一診 | 横田 和昭 | | 橋本 昌美 (内分泌、甲状腺) | 藤野 寿幸 (代謝) | 山脇 泰秀 (神経) | |
| | 二診 | 松本 佳則 | | 森永 裕士 | 小寺 亮 | 開原 正展 | |
| 循環器科 | | | ハ・ヌカ外来 杉山洋樹・佐藤克政 | | | | 午後1時より |
| 循環器科検査 | | 心カテ | 経食工コー | 心カテ | 経食工コー | 心カテ | 午後1時より午後5時 |
| 神経内科 | | 原口 俊 | 横林恵理子 | 原口 俊 | 検査 | 原口 俊 | |
| 外科 | | 手術 | 検査 | 手術 | 検査 | 手術 | |
| 整形外科 | | リウマチ外来 | - | 手術 | - | 手術 | |
| 小児科 | | - | 乳児検診 | 予防接種 | 慢性疾患 予約外来 | 慢性疾患 予約外来 | 月~金 脳波検査 |
| 脳神経外科 | | 検査 | 手術 | 検査 | 手術 | 検査 | |
| 産婦人科 | | 母親学級 | 手術 | - | 手術 | - | |
| 皮膚科 | | 手術 | 検査 | 検査 | 手術 | 検査 | |
| 泌尿器科 | | 手術 | 手術 | 検査 | 手術 | 予約外来 | |
| 耳鼻咽喉科 | | 手術 | 検査 | 睡眠時無呼吸外来 | 手術 | 検査 | |
| 眼科 | | 手術 | 検査 | 検査 | 検査 | 検査 | |
| 歯科・歯科口腔外科 | | 口腔外科 | 手術 | 口腔外科 | 手術 | 口腔外科 | 予約診療 |

案内図

